

# 野田九条通信

2017年10月142号

野田・九条の会 事務局  
☎04-7122-0502



野田 九条の会

検索

## 総選挙 本当の争点は憲法日本を戦争する国にするのか？

突然、衆議院選挙ということになりました。安倍首相はことさらに北朝鮮脅威をあり、森友、加計問題など都合の悪いことは覆い隠そうとしているかのようです。消費税の使い道の変更を国民の信を問うなどと聞こえのいい言葉に惑わされず、私たち国民はしっかりとこの政権の本質を見破らなければなりません。

安倍首相は、5月に自衛隊を憲法に書き込むと表明しました。九条の一、二項はそのままだまま、自衛隊を九条に位置付けるといいます。戦力の不保持、交戦権を認めないとなつている後に、自衛隊（軍隊）をどう位置付けるのでしょうか。今回の総選挙では条文までは公約に入れないといふので、またごまかします。

野田・九条の会では、6月から例会でこの問題について勉強し、安保条約や核の傘についても議論してきました。7月からは駅頭で「自衛隊をどうしたらいいと思いますか」とシール投票という形で市民の皆さんの意見を聞いてきました。「自衛隊は現状でいい」「軍隊にしたほうがいい」「5つの設問に対し、軍隊にしたほうが良いと思う人は少数でした。」

今度の選挙でまた消費税を10%にする増税分を保育や教育費を無償化するなど給玉をぶら下げるようですが、九条を変えて軍隊を持つという自民党の本当の狙いを焦点に選ばなければなりません。

それにしても野党の混乱は私たちの選択肢をますます狭めている気がします。小池新党は東京都議選の勢いで他党をも飲み込むようですが、憲法へのスタンスは自民党と同じです。危ない危ない。これに対し野党共闘の動きは鈍りがちです。でもめげてはいられません。これで投票率が下がれば与党の思うつぼだからです。野田の市民連合では10月の行動予定として

10月2日梅郷、3日野田市、4日愛宕、5日清水公園、6日七光台の各駅駅頭、7日いなげやスーパー前で夕方6時から7時までチラシまきを予定しています。時間を作って参加しませんか。

憲法を変え軍事国家にさせない為に踏ん張りどころです。市民の力で選挙を盛り上げ投票で意思を表しましょう！

デモ行進に参加  
18日敬老の日東京代々木公園で開かれた集会の後、渋谷までのデモ行進に野田九条の会から5人が参加しました。台風一過の暑さの中久しぶりのデモ行進でした。福島第一原発の事故直後の集会では駅から出られないほどの人数でしたが、この日は参加者約1万人とのこと。原発も忘れないようにしないと！

### ①今月の予定

- 10月1日(日) 13:30~16:30  
DVD上映とディスカッション  
「原爆死 ~ヒロシマ 72年目の真実~」  
南部梅郷公民館 南地域九条の会
- 10月6日(金) 14:00~15:30  
ちょっと硬派なおしゃべりカフェ  
気軽に憲法や社会のことおしゃべりませんか？  
北コミ談話室 野田九条の会
- 10月7日(土) 13:30~16:30  
野田・九条の会 例会  
DVD上映とディスカッション  
「原爆と沈黙~長崎浦上の受難~」  
中央公民館学習室(2階) 国会解散と憲法について討論
- 10月9日(月) 16:00~17:00  
駅頭シール投票  
自衛隊をどうすればいいと思いますか  
梅郷駅西口広場 野田九条の会
- 10月28日(土) 13:30~16:00  
DVD上映とディスカッション  
「核なき世界へ ことばを探す サロー節子」  
中央公民館講座室 子どもの未来を語る会
- 11月12日(日) 13:30~17:00  
DVD上映とディスカッション  
「731部隊の真実」「戦慄の記録 インパール」  
南部梅郷公民館 南地域九条の会

# 九条の眼 日本は東アジアの平和構築に力を尽くせ

## 「北朝鮮の脅威」を改憲に利用

今、安倍政権は盛んに「北朝鮮の脅威」を喧伝するが本当にそうだろうか？北朝鮮が日本を攻撃する動機は何であろうか？冷静に考えると見つからない。北朝鮮は「米国の脅威」に対抗するために核を保有しているんだとよく言う。リビアの例を想起すると北朝鮮の言い分にも一理ある。度重なる米韓軍事演習（斬首作戦という挑発的なものもある）、サードの設置、戦術核兵器の再設置の動き等々は確かに北朝鮮にとっては脅威であろう。ましてや石油の供給を止められたら？先の大戦では、日本は米国から石油の輸出を止められ太平洋戦争に突入したといわれている。脅しているのは米国ではないのか？ではなぜ政府が「北朝鮮の脅威」を喧伝するかといえば、軍備増強と9条改憲の世論をつくるために北朝鮮の脅威を宣伝、利用しているのだ。

どこの国でも軍事的脅威に対しては先ずシェルターを建設するが日本はそれをしていない。Jアラートの注意で国民を守れないのは小学生でもわかることだ。国民はその辺のところを冷静に見て乗せられないようにしなければならない。



## 対北朝鮮、圧力だけで良いのか

日本は安全保障問題になると米国の考えにベッタリだ。安倍政権になってからはそれが甚だしく、米国の手下という感じである。ドイツは米国の同盟国ではあるが、イラク戦争に兵を送らなかった。日本は、「イラクには大量破壊兵器があるからフセイン政権を壊滅させなければならない」という米国の主張をよく調べもせず、いち早く支持表明をした。結果は米国の勘違いだった。なんの罪もないイラク国民に多大の被害を与え、「勘違いでした」で済む問題だろうか。イラク戦争終了後、政府は謝罪をしていない。

今、北朝鮮と米国のトップが自国の軍事力を誇示し、相手を威嚇し合っているが偶発的な衝突の危険はないのだろうか。対応を誤れば本格的な交戦になりかねない。その時最も被害を受けるのは米国ではなく韓国、日本である。ドイツやフランスが対話による解決

を呼びかけ、スイスは会談場の提供など仲介をしたいと名乗り出ている。日本も米国一辺倒ではなくもっと東アジア諸国との話し合いを積極的に推し進め、平和構築に力を尽くすべきではないだろうか。そのことは日本の安全保障を確かなものにし、世界の平和に貢献する道でもある。

## 72年前の爆弾

車の通行が止まった。長野県から訪れた観光客が目を見張った。「何度も沖縄に通っているけれど、こんなの初めて。しかも日常茶飯事だと聞いたんです。考えられない」

市役所職員は汗だくで避難区域と迂回路の説明に精を出す。手にした地図に英語、韓国語、中国語が記されているのは、この通りゆえか。キャリアバッグを引きずり、右往左往する外国人観光客もいる。気の毒だ。

23日、国際通りに近い工事現場であった不発弾の処理作業で見聞きしたことだ。半径160メートルの避難区域には千世帯2500人が暮らし、ホテルやコンビニなど350事業所がひしめく。商売上の痛手も大きいだろう。

通行止めを知らせる立て看板のそばで、目の不自由な男性が、折り畳んだ白杖（はくじょう）を握り座り込んでいた。作業が終わるのをじっと待っている。とんだ災難だ。戦争の時も、常に弱者が犠牲になる。

米軍が落とした爆弾は県民を傷付けてきた。殺傷力を維持したまま地中に埋もれた不発弾がいつ爆発するか分からない。処理に当たる自衛隊員は真新しい下着で作業に臨むという。自衛隊員から聞いた話だ。

海の向こうでミサイルだ原爆だ完全破壊だと果てしない応酬が続いている。それに乗じてか、日本の政権党は憲法改正を掲げて総選挙に挑む。こちらは72年前に落とされた50キロ爆弾に苦しんでいるのに。ため息が出る。